

# 平成27年度当初予算への要望

## 【地域要望】

平成26年8月26日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【挙母地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	崇化館	豊田市駅前通り北地区再開発事業の推進	豊田市の顔でもあり、玄関口でもある豊田市駅前通りは南地区の再開発事業完了後時期がたちますが、合わせて北地区の再開発事業がまたれるところである。早急に事業推進に取り組んでほしい。
2	継続	崇化館	エコフルタウン東側市道の歩道整備 元城町2交差点～十塚町3交差点	自動車往来の多さに伴い、歩道施設の老朽化と危険性が増している。
3	継続	朝日丘	東高跡地における歴史博物館整備計画の推進	仮称文化創造センターに併設して博物館法に基づく仮称ふるさと歴史館を建設することが予定されているが、県から用地を取得して以来、校舎等そのままとなり放置されている。早期に土地利用をはかり、また歴史博物館建設の事業化を進めるべき。 なお今後、基本構想策定、基本計画策定にあたっては、小坂区、樹木区、両区街づくり委員会、内藤学文公顕彰会そして挙母祭り保存会をはじめとする地元の意見や要望を十分に反映してほしい。【場所：小坂本町5丁目地内】
4	継続	朝日丘	街区公園の新規建設	自治区北部に公園がないため、住民に良い生活環境を整備していくことが必要。 財政難のため進捗が遅れているが、仮に公園用地の所有者が土地を売却した場合、住宅が密集することが明白であり、二度とこの用地は取得できなくなる。 災害時の一次避難所としての活用による安全安心を確保するためにも、早期に3千平米程度の街区公園を建設してほしい。 【所在地は三軒町1丁目地内で旧市営三軒町住宅跡地に隣接する東側の農地と山林。所有者は1家族】
5	継続	朝日丘	毘森公園の再整備の推進	毘森公園の現状は、治安が悪くホームレスもいることがあり、地面に起伏があり樹木により見通しが悪く、特に母子が不安で利用しにくい。 中心市街地に所在する都市型公園として駅前再開発と合せて駅西区域の整備として早急に整備すべき。 なお、計画策定にあたっては、公園用地内で小坂の住民によるボランティア団体が自主管理する近自然型の「小坂の郷」を整備・維持管理しており、よって地元小坂自治区の意見や要望を最大限、計画策定に反映してほしい。【小坂町1・2丁目】
6	継続	朝日丘	県道豊田東郷線の都市計画改良の事業化	県道豊田東郷線(都市計画東郷豊田)は交通量が多く中心市街地に接続する重要な幹線道路だが、歩道幅員が狭く歩行者、自転車の通行が危険な状態である。 現状は幅員約10mだが、幅員16mに改良する都市計画決定がされて以来、事業化が進んでいない。 都市計画改良を早期に事業化していただきたい。 【区間：小坂町7丁目の三九朗病院交差点から小坂本町1丁目の富士火災交差点までの延長約300m】
7	継続	朝日丘	①流域調査と施設容量調査の委託 ②東高跡地の流域から流下する雨水を、国道153号線の雨水管渠へ接続することの可否調査の委託	①—1 治療室アレテ南側の水路分岐点の現状は東側水路でオーバーフローした排水を南側水路に分配しているが、それを分岐点において両水路へ2分配して分配していただきたい。分配排水することの可否を判断するための流出量調査、下流域の施設容量の調査を委託してほしい。【小坂本町3丁目】 ①—2 市道籠田仲田線は大雨の際に冠水するため、市道駅西30号線、市道駅西33号線、そして市道駅西34号線の範囲において各市道の施設の容量などについて流域調査、施設容量調査を委託してほしい。【小坂本町4丁目】 ② 東高跡地区域からの雨水排水は、国道153号線を北へ横断し、下流側の小坂本町4丁目地内の市道籠田仲田線において大雨の際、道路冠水している現状がある。ところで文化財課が枝下用水との間の農地の大半をすでに取得し駐車場用地とする計画を持っているが、駐車場整備すれば現状以上の大量の雨水が下流に流れる。下流域への被害を想定し、国道153号の南側の流域内で一部を分岐排水する調査を早急に委託し、計画策定してほしい。【小坂本町5丁目】

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

8	継続	朝日丘	市道青木新生線の道路拡張	枝下用水～小坂若林線(市道青木線)約500M間は狭隘で、南部分は田畑で3～4M落差があり、対向車がある場合、待機を余儀なくされるとともに、歩道も設置されておらず、自転車・歩行者と車との接触事故。また、車同士の事故により、南側田畑に転落など、事故が発生している。この部分は北側が緑地指定されており、公園用途以外の道路拡張は難しいのが現状である。(考え方) ①本来該当地域をみると、緑化面積からも枝下用水から北側にかけて都市緑化部分を指定すべきと思われる。②北側5名の地権者の同意も南側の地権者と比較して交渉が容易と思われる。③都市緑化区域の除外検討を再度要望。④車道、歩道など一体的整備
9	継続	朝日丘	基幹バス運行路線の新設/①小川・細谷町経由/②新生町経由/公共巡回バスの3路線	①豊田市駅～小川・細谷町～厚生病院経由 ②豊田市駅～新生町～厚生病院経由 ③主要公共施設(美術館・文化会館)経由の巡回バス路線新設 (1) 都心部の交通渋滞緩和及び乗入れ抑制と環境モデル都市としての低炭素社会実現を図るための路線新設 (2) 核家族化による高齢者の福祉対策
10	新規	朝日丘	小川町4丁目北側と豊田ダンボール倉庫東側間の狭隘道路改修	要望箇所は、普通乗用車1台分の余地しかなく、対向車はもちろん自転車との擦れ違いも出来ず、接触事故も起きている。また、緊急車両も通行困難で早急な対応が必要。
11	継続	朝日丘	国道155号御幸3丁目交差点より南方面の道路拡張	R155号交差点から南方面道路(旧安城街道)は、朝夕の通勤車両が多い道路で、同時間帯は通学者も多く、歩道も設置されておらず、接触事故がふえている状況である。安全対策として歩道の設置をあわせて道路拡張が必要である。暫定的に待機場所の設置の必要性あり。
12	継続	朝日丘	国道155号御幸3丁目交差点より土橋方面への右側部分の歩道の設置	R155号道路は、主要幹線道路で朝夕の通勤車両が多い道路で、形態も緩やかなカーブと下り坂のため、スピード制御が難しい。また、通学時間帯は自転車などによる児童・高校生の通学路のため、安全対策上早期改修が必要である。
13	継続	朝日丘	新生公園の早期実現・樹木公園の整備	震災時の第1次避難地として広域避難機能とともにスポーツ施設としての住区基幹公園として早期計画の実現が望まれる。この公園は計画構想から十数年が過ぎ、その後進展もなく土地所有者も市街化区域のため、固定資産税補填による土地利用もあり、民間利用などにより、虫食い状況である。そのため、公園計画自体に支障が生じる可能性が大である。あわせて樹木公園の考え方についても同様。
14	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成すれば、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。
15	新規	豊南	地域体育館整備	地域住民の健康福祉施策として要望する。特に豊南地区には河合池運動広場が整備されており、一体の整備を行えば、相乗効果もある。
16	新規	豊南	交番設置	豊南地区は、トヨタ自動車本社で地域が分断されており、豊田市のいう「中学校単位で一つ」という規準に合わない地域である。特に地域性に留意され、地域住民の安全安心のため、交番設置を強く望む。
17	新規	豊南	明治用水耐震化工事に伴う暗渠化	平成26年度より明治用水耐震化工事が水源頭首工より始められる。その説明によれば、人家のないところでは「開渠」で整備する方針のようだが、頭首工付近は、歩道が設置されておらず、交通量も多いため非常に危険である。「暗渠」にすれば、その上部を有効利用し、歩道など設置すれば、地域住民のみならず、多くの市民が利用できる。
18	継続	逢妻	市道東名側道2号線の歩道整備	本地町5丁目～10丁目の市道が狭わいで湾曲、さらに片側が急な側面で危険度高い。通学路にもなっているので早急な整備を要望する

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

19	継続	逢妻	広久手町4丁目～5丁目の里道の市道認定と早期整備	平成19年以来2つの自治区の要望 幅員も境界も解決しているので早期の市道認定と整備を要望する
20	継続	逢妻	柿本公園の整備再開／柿本町	都市公園として用地を取得し、地域住民のワークショップにより、設計も完了しているが、更地のまま何年も利用されていない。防災公園としての機能もあるので、投資効果が得られるよう、早急な整備再開を要望する。
21	新規	逢妻	頭本池の周回路整備／田中町	境川・猿渡川流域総合治水対策として頭本池流域貯留施設整備工事が進んでいる。近隣に住宅団地があり、現在新たな宅地開発も進んでいることから、頭本池の整備工事の一環として親水できる周回路の整備を要望する。
22	継続	逢妻	市道：本地柿本線の拡幅延長／柿本町	当該市道は、トヨタ元町工場の巨大駐車場の出入口があり、朝夕は慢性的な渋滞を起こしている。さらに大型小売店の開店、西BPの整備による転回禁止により通行量が増大している。平成26年度、柿本町3交差点から西に約80mの区間で拡幅工事が始まったが、そのさらに西にはタイヤメーカーの倉庫があり大型車両が往来するために、すれ違いができない状態である。その倉庫への進入口までの早期拡幅を要望する。
23	新規	逢妻	市道：深田山墓地線(3746)の接続整備	当該市道の起点は転回空地となっているため袋小路となっている。現況この市道を通行するのは墓地参拝者が主であるが、市道全体が近隣住民の駐車場化しており、通行に支障を来している。 そこで、この市道の起点を延長し、他の市道に接続するさせることを要望する。
24	継続	梅坪台	国道419号梅坪工区東側歩道整備	陣中工区はブロックで歩道整備されているが、連続する梅坪工区の既整備された西側はアスファルト対応。商業店が連担する東側は少なくとも、ブロック施行をすることを要望する。
25	継続	梅坪台	枝下用水耐震改修工事の早期事業化	通学路の狭隘に起因する安全確保の為の橋の架け替え等点もの要望書が関連自治区から従前より定終されているが、耐震改修工事が済んでからと全く進まない。早急な事業化を進められたい。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【上郷地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	上郷	御手洗川の整備／畝部西町	県道から畝部こども園西側の御手洗川を暗渠化し緑道として活用することにより、園児の安全性も図られるため早期整備を要望する。
2	継続	上郷	榊塚東町地区計画の決定	愛知環状鉄道駅「北野榊塚駅」隣接地に民間による地区計画が計画されている。自治区長、自治区役員、地主等事業に前向きであり、早期着工を期待している。
3	新規	上郷	畝部小学校搬入道路の整備	畝部小学校の周辺道路は、道幅が狭く大型バス、消防車(大型)の進入ができないため、早期の道路拡幅を要望する。
4	継続	上郷	愛環北野榊塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備
5	継続	上郷	市道広美榊塚線の整備／榊塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良をすること。 ②市道広美榊塚線と市道東榊塚東線を結ぶこと。 ③市道東榊塚東線を柳川瀬公園内道路と結ぶこと。
6	継続	上郷	榊塚西町自治区 公園の建設／榊塚西町	1100世帯、3200人の自治区に遊具のある公園が一箇所しかない。子どもたちの遊べる場所や地域の人たちの憩いの場所となる公園の建設を要望する。
7	新規	上郷	基幹バスおいでんバス運行経路検討	運行経路を家田病院、柳川瀬運動公園延長など検討し、乗降客を増やす。
8	継続	上郷	高嶺こども園の改築／和会町	高嶺こども園は、本舎が昭和36年に建設され、50年目を迎えて市内で一番古い建物といわれる。また、平成18年にリースで建てられたプレハブ舎も、23年3月までの予定が延長となるなど、安全面からも不安である。待機児童の解消も含め、全面改築を強く要望する。
9	新規	上郷	トヨタ上郷工場南側の市道の歩道整備(市道竹下和会線)	トヨタ自動車(株)上郷工場南側の市道の歩道整備(市道竹下和会線) 市道は高嶺小学校や豊田工業高校の通学路で、途中で工場従業員駐車場の出入り口もあり危険
10	継続	上郷	家下川の堤防の散策と上郷藪間公園との整備	家下川の藪間公園沿いで地元有志により蜚が今年より飛び交う。子供たちが水に触れるように整備を要望する。
11	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用(鴛鴨町他)	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウオーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の早期着手及び、地域要望を取り入れた上部利用を要望する。
12	継続	末野原	永覚町の通学路の整備	永覚町平子地区の児童の通学路及び生活道路において平子橋北側の明治用水沿いの道路も狭く危険である。道路拡幅・明治用水横断の歩道橋などの道路整備を要望します。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

13	継続	末野原	幸(隣松寺含む)町地内の排水路暗渠化による通学路・遊歩道整備	隣松寺から幸町に通じる、市道側溝及び排水路に蓋をして、通学路・遊歩道の設置希望。
14	継続	末野原	宝蔵川周辺の法面・護岸工事による住宅地浸水防止他	渡刈町地内の宝蔵川の急斜面の草刈り対策及び集中豪雨時の住宅浸水防止の護岸工事の実施。
15	継続	末野原	家下川の川幅拡張による、集中豪雨時の浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地浸水が予想されるため、拡張工事を依頼。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【高岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	高岡	名鉄三河線若林駅付近連続交差事業への対応 / 若林東町	名鉄三河線若林駅付近連続交差事業の事業採択に向け担当課において鋭意努力して頂いているところであるが、この事業は若林駅周辺のまちづくりだけでなく本市全体のまちづくり対しても大きな影響を与えると思われる。また、この事業化の決定は若林駅周辺の土地区画整理事業の推進にも大きく影響すると考えるため、早期の事業化への対応を要望する。
2	継続	高岡	都市計画道路の事業化 / 若林西町 若林東町	地区内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。この地域には土地区画整理事業の計画が予定されているが、この辺りは以前より駅を中心に商業施設や学校等があるため人や車が多く集まってくる。土地区画整理事業が始まるにしても、ここを利用するための流れを整理する必要があるため、土地区画整理事業エリア外も早期に事業化を要望する。
3	継続	高岡	旧平針街道 若林神社前交差点改良 及び 若林花園線の拡張 / 若林西町	若林神社前交差点は、北方面から車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先には踏切りと変形交差点(六辻交差点)がある為、渋滞が発生する。また、並行する平針街道の渋滞を避けたり、生活の為の通過道路としても使われている為、交通の難所でもあり渋滞の発生源ともなっている。この周辺は古くから高岡地区住民にとって生活に必要な施設が多く、近隣地区より車で人が集まる地区でもある。何度も回答を頂いているが、土地区画整理事業がの事業化待ちでは遅く、先日もこの交差点で交通事故が発生している。他にも、交差点には歩道橋もあるが子どもたちの通学路としても使われておらず、車等の視界の妨げとなっているので撤去する必要もあるためこの点も早期に整備を要望する。
4	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線 渋滞対策 / 若林東町	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響があるので道路改良、交差点改良(3箇所)や歩道の整備を要望する。
5	新規	竜神	緑地の用地買収	竹町宮下40.41.43(約930㎡)の用地買収。豊田市市街地における緑の保全条例に基づき緑地に指定され、良好な管理によって保全緑地に認定されている。地権者は高齢(88歳)になったため予想される相続の負担から市に買い取り申請を準備している。この緑地は以前、竹藪だったが2005年に「豊田市まちづくり助成金(8割補助)」を受け地元自治区等が2割の負担金を拠出し、地域のボランティアにより「竹町竹林公園」として整備された。地権者と竹上自治区との覚書により「適切な維持管理」を条件に無償で地域に公園として提供され今日に至っている。地域のまちづくり活動の原点ともいえる緑地であるとともに、隣接の神社境内を除けばこの地域の既成市街地に残る唯一の緑地であり、市が用地取得することで恒久的な緑地として保全されることを地域住民が強く望んでいる。
6	継続	竜神	清水町6丁目106-2付近～本町共和～本町本竜の特別養護老人ホームへ至る道路の市道認定、拡幅整備	現在は農道であるが、清水団地住民の生活道路として、特別養護老人ホーム・地域包括支援センター利用者の通行が増したが、幅員が狭くすり替わりができず、どちらかが待機しなければならない。また、竜神中学校生徒の通学路に指定されているが、自転車と自動車のすり替わりにおいてもぎりぎりのためハラハラさせられる。生活の利便性及び安全な通学の確保のため整備を要望する。
7	継続	竜神	市道竜神庚申塚線の拡幅整備	通行量が多いが幅員が少ないため乗用車のすり替わりに不自由している。雨水に洗われて路肩が掘れ、すり替わりでタイヤを落としてタイヤを損傷する車が依然として発生していると聞く。歩行通学と自転車通学とが共存しており、歩行者がいるときは自転車は狭い車道を通行しなければならない。安全な通学を確保するため、歩道も含めた拡幅整備は地域の長年に渡る要望である。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

8	継続	竜神	東田区民会館前ふれあい広場の拡張／寿町	東田自治区は人口が増加しており、自治区内唯一の広場であるふれあい広場で行事を開催しているが非常に手狭になってきている。 隣接する東側の民地が、現在は企業の駐車場として賃貸されているが、その民地をふれあい広場として、用地取得することを要望する。
9	継続	竜神	市道：山の手70号線の整備／寿町	当該市道は、カギの手状の市道であるが、1辺は既に6mの市道として整備されているが、1へんは5mの市道分が用地取得されているものの整備されておらず、行止まりとなっている。 当初の計画通り、市道としての機能を果たせるよう整備することを要望する。
10	新規	竜神	県道：水源橋線の灌水対策	寿2丁目地内の県道：水源橋線は高低差により、時間降雨量が多いと慢性的に灌水し、平成26年度も灌水による故障車が発生するなど、通行に支障をきたしている。排水路整備や道路形態の改修等の改善策を要望する。
11	継続	竜神	市道：山の手64号線の拡幅用地の買収／寿町	当該市道の拡幅は、20年前、県道：水源橋線拡幅が計画された当時から計画であるが、県道拡幅の工事終了となる現在も用地の買収がなされていない。これは分譲マンションの地権者が多数であり合意が得られていないからであるが、市が責任を持って用地を買収すると言うことは、当時の約束である。従って用地買収にむけて努力することを要望する。
12	継続	若園	(都)花園八橋線 道路新設事業	現在用地取得中である。継続して取組みを進めて行ってほしい。また、用地取得完了の部分から工事の着手をお願いしたい。
13	継続	若園	(都)西岡吉原線 道路新設事業(R155～名鉄三河線)	現在(都)西岡吉原線の道路事業が進行中である。タイミングを図りながら着手されたい。
14	新規	若園	(都)西岡吉原線 道路新設事業(名鉄三河線～県道豊田一色線)	①中根町集落では、まちづくりを進める中で事業の推進を図られたい。 ②吉原町では、農地を斜めに計画決定されており、三角地がたくさん残ってしまうため用地取得が困難であることから、その利用方法について協議しながら進めてほしい。時間が掛ることから、事前の協議を今から進められたい。
15	継続	若園	三河線連続立体交差化事業	中根町～若林東町の複線高架化の促進を要望
16	継続	若園	市道花園役場線 道路整備事業	進行中の事業であり継続されたい
17	継続	若園	市道中根下大切線 道路整備事業(歩道設置)	調査中であり、引き続き事業促進されたい
18	継続	若園	若園中学校改築事業	若園中学校校舎の老朽化に伴い、早急な改築を要望する
19	継続	若園	若園交流館改築事業	若園交流館は若園地区の文化交流の拠点施設であり、地域住民の交流の場でもあるが、老朽化も進んでおり、早期の改築を要望する。
20	継続	前林	都市計画道路の早期着工	都市計画道路豊田刈谷線については、地元地権者、自治区と打ち合わせを詰め、早期に着工に向けて行動していただきたい。また、西岡吉原線第1、2工区については、ローリングで停止状態であるが、解除し、早期工事着工に向けての活動を実施していただきたい。両施設が一体化することにより、地域の産業用車両のスムーズな通行が確保できると考える。
21	継続	前林	中学校区に交番の誘致	前林中学校区には交番がなく、高岡交番と美山交番に分離されて管理されている。女子高生殺害事件のこともあり、早期に学区内に交番を誘致していただきたい。



○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

22	新規	前林	調整区域に小規模商業施設の誘致	鉄道路線がない当学区においては、現施策では高齢者等車を利用できない人が利用するショッピングセンターを誘致できない。そのため、高齢者をはじめ地域住民は不便を強いられている。多くの住民が利便施設としての買い物施設の誘致が可能な土地利用施策を望む。
23	継続	前林	雨水調整対策としてのため池整備	逢妻女川への集中豪雨の負担を減少させるとともに、地域の自然を保全するためにため池の保全整備を促進する。
24	新規	前林	高岡公園ソフトボール場の整備	高岡公園に隣接してソフトボール場が整備されたが、用地取得も含め未完成となっている。早期に用地買収と整備を進める。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【猿投地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	保見	新規市道整備	東海豪雨の折、大沢川の決壊により篠原町の郷屋敷の住民が孤立状態になった。地元の地権者の同意を得ましたので新規市道整備をお願いします。
2	継続	保見	保見マレットゴルフ場の36ホール化	H26年度は水路の修繕を実施後、利用状況を踏まえながら検討との回答でしたが、H27年より事業の推進を期待する。
3	継続	猿投	舞木～乙部間の道路新設(第2工区)	本道路は、乙部ヶ丘団地から猿投中学校へ自転車通学生徒の安全を確保するため整備が進められており、本年3月末完成した。乙部ヶ丘団地からの通学生徒は現在165名(全生徒数300名)であり、平成30年度には280名(全生徒数450名)と推定しており、現状の道路幅員は狭小且つ歩道が無く、別ルートを通学路として利用しているが狭く飽和状態であるため、引き続き第2工区(乙部町地内)の早期完成を要望する。
4	継続	猿投	猿投中学校に野球・サッカーのできるグラウンド整備	猿投中学校の生徒数は乙部ヶ丘の児童数の増加に伴い、現在300名が平成30年には560名となるため、校舎の拡張事業が検討されている。一方、狭いグラウンドではソフト、テニス、プールが立地し、新たに野球場やサッカー場を確保することは困難である。旧市内で野球のできない中学校は猿投中だけであり、グラウンドの早期拡張を要望する。
5	新規	猿投	加納～西中山間の道路拡幅	本路線は、猿投北部地域と西中山地区にある商業施設、葬儀場などと連絡する生活道路であり、また沿線にはトヨタ紡織藤岡工場や東海資材(株)が立地していることから通勤車両、大型車など交通需要が高い。しかしながら現道路幅員は3～4mと狭いため危険な状況にあり、早期事業に着手を要望する。
6	継続	猿投	(仮)水辺ふれあいプラザ事業の推進(亀首町地内)	本事業は、矢作川水系に生息する魚類が年々減少する中、これらを復元させ、子供たちに魚類の生息状況など生態の学習施設として整備が計画されました。用地は平成19・20年度に買収されましたが、整備内容並びに時期については、少なくとも後期実践計画では着手されない事業となりました。しかしながら、現在、2haの用地を地元が草刈りなど管理しており、今後の取組方針を早期に明らかにすべきである。
7	新規	猿投台	県道北一色東広瀬線、豊田明知線交差点改良(西広瀬地区)	通勤車両の増加等に伴い、同地区は交通安全面等の支障をきたしており、以前に、計画をされている交差点改良を速やかに執行することを要望する。
8	継続	猿投台	名鉄越戸駅及び周辺整備	北バイパス整備に合わせて、計画的に整備をするよう要望する。同地区は都市計画決定をされており迅速な、対応を望む。合わせて、高齢化社会に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を要望する。
9	継続	猿投台	県道西山中越戸停車場線青木町1丁目交差点改良及びガードパイプ設置	通勤車両の増加に伴い、同地区は交通渋滞をきたしており、交通安全面も含め支障をきたしており、抜本的な改良を要望する。合わせて、同エリアは幼・小・中が配置されており、同路線にガードパイプの設置を要望する。(猿投台中学校、青木幼稚園付近)
10	継続	猿投台	「民芸の森」整備事業	後期実践計画に反映をされたが、事業内容が後退した。同地区の今後のまちづくりの中核を担う事業であり、事業の更なる推進、並びに民芸の溪事業の具現化を要望する。特に勤八町地内の公園課所管の用地については、早期な事業化を望む。
11	継続	石野	通学路の歩道の設置(自転車共用)	通学路の歩道の設置(自転車共用) 国道153号の勤八町勤八交差点から力石インター東交差点までの歩道整備、秋には香嵐渓方面への渋滞箇所で大変危険である。早急な整備を要望する。(国交省から事業化連絡あり、継続して早期実施を要望)

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

12	継続	石野	石野中学校への進入道路の確保	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が絶たれた場合にも避難所の安全確保のため整備を要望する。
13	継続	井郷	布袋池(猿投運動公園内)と水無瀬川の水質保全確保と水辺・親水公園整備	昨年に引き続き水と緑のまちづくりのために布袋池(猿投運動公園内)と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。
14	継続	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備	猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置づけられているが、現在は学童始め鉄道で運動公園を訪れる人たちが、道なき道を迷いながら利用しているという状況である。その改善策と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸と、パークアンドライド用駐車場の整備(駐車場用地の早期取得)を要望する。
15	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し 早期整備・早期開通 ①(都)猿投停車場線 ②(都)猿投学校通り線 ③(都)名古屋豊田線(県道) ④(都)御船花本線(県道) ⑤(都)豊田多治見線(国道) ⑥(仮)四郷貝津線 ⑦市道大釜島坂根線	豊田市北部の都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通は合併地区と旧市との交通網の整備確立のためや、北部における安全安心の生活環境整備、各公共施設・準公共施設・工業施設誘致施策等にも重要である。これらを踏まえた政策的な道路整備の推進を要望する。
16	新規	井郷	マレットゴルフ競技場整備計画の再開	中断していた四郷下古屋自治区内の御嶽山から井郷中学校区内猿投運動公園周辺での設置整備の早期実現

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【松平地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	松平	松平氏遺跡を中心とした観光振興策の具現化	松平郷整備におけるビジターセンター設置についての研究が始まっているが、具体的な進展が見られない。着実な事業推進を要望する。
2	新規	松平	多目的広場の設置	松平地域は全般的に平坦地がない。特に地域の中心地である松平中学校付近はなおさらである。中学校校庭も狭く野球やサッカーはもちろん出来ない。中学校のサブ校庭機能として、一方では災害時における避難広場として設置を要望する。設置場所としては松平中学校西側丘陵地での検討を要望する。
3	継続	松平	松平地域体育館の設置	松平地区における体育館構想については、第6次・第7次総合計画にも位置づけられているが未だ完成を見ない。平成22年度策定の「第2次・生涯スポーツプラン」にも位置づけられており、早期の設置を要望する。

【藤岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	藤岡	国道419号の改良整備(藤岡飯野交差点他)	藤岡飯野交差点をはじめとする国道419号は、周辺の住宅地や工場などへの交通集中により、朝夕に各所で慢性的な交通渋滞が発生し、市民生活に支障をきたしている。このため、事業着手された藤岡飯野交差点改良及び迫八反田交差点改良は交通の要衝であり、早期完成に向け集中的な整備を要望する。また、当該国道は小・中・高校生の通学路としての利用が多く、歩道の新設や拡幅などの早期整備を要望する。
2	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線改良整備は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。また、グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であり、早期の改良整備を要望する。
3	継続	藤岡	新設市道の整備(北一色～迫～深見～西中山)	藤岡飯野交差点の慢性的な渋滞を回避するための新設道路を要望する。
4	継続	藤岡	県道大平折平線の拡幅整備(大岩町地内)	県道大平折平線の拡幅整備は県道でありながら幅員が3.5mしかなく、大岩町住民と隣接の小原地区大平町住民は、車の通行に大変苦勞している。さらに道路も屈曲部が多く通学児童や高齢者は交通事故の危険性にさらされているため早期の拡幅整備を要望する。
5	継続	藤岡南	国道419号辻貝戸交差点改良	通勤車両の渋滞緩和と小・中学校生徒の通学安全確保するため、早期の改良を要望する。
6	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山町地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。
7	継続	藤岡南	国道419号の通学路整備 深見町常楽交差点(西側)歩道設置	中学校の通学路の安全確保のため早期設置を要望する。
8	継続	藤岡南	藤岡南地区運動広場建設	藤岡南地区には運動広場がないため、早期建設を要望する。
9	継続	藤岡南	市道藤岡西中山加納線榎前地内交差点改良	市道藤岡西中山加納線榎前地内は、藤岡南で1、2番の要衝でありながら、国道419号と猿投グリーンロード名古屋方面進入路との変形交差点となっているため、非常に危険な状況にある。大事故を未然に防止するためと渋滞解消を図るため早期の改良を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【小原地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	小原	和紙のふるさと施設整備／永太郎町	和紙のふるさと施設は、建築後30年余が経過し、老朽化による不具合が目立つ。エレベーターや段差解消等のバリアフリー化が遅れ、利用者に不便を強いている状況にある。又、当施設は第7次総合計画に位置付けられた観光交流拠点施設でもあるため、既存施設の早期更新と新たな機能の導入を要望する。
2	継続	小原	歌舞伎伝承館の整備／永太郎町	農村歌舞伎を伝承する施設として、旧小原保健センター(小原交流館内)を改修整備する方向性が決められた。伝統文化の伝承と多様な交流を促進するための重要事業であり、郷土民俗資料の保存の観点からも早期の整備を要望する。また、施設整備にあたっては地域の歌舞伎関係者等との十分な協議・調整を要望する。
3	継続	小原	市道小原赤羽根線の改良／苅萱町	苅萱町から、(主)県道土岐足助線に通じる市道小原赤羽根線は、唯一の生活道路、通学路であるにもかかわらず、平均幅員3.2mの狭小路線であり、車のすれ違いが困難で大変危険である。道路改良又は、交互通行を可能とする部分改良を要望する。
4	新規	小原	小原交流館施設等整備／永太郎町	小原交流館は、建築後24年が経過し、老朽化等による不具合が目立つ。特に小原歌舞伎の公演施設であるが、小原座の音響設備の不具合や照明設備の作業時の危険性は、利用者に不便を強いている状況にある。当施設は生涯学習や地域活動の拠点施設としてだけでなく、地域の伝統文化を伝承する施設でもあるため、既存施設・設備の早期更新を要望する。
5	新規	小原	県道沢田御作線の整備／北篠平町～御作町	東海環状自動車道勸八ICの利用増や、豊田市外環状道路への接続の良さから、県道沢田御作線の重要度が増すと共に、交通量も増え、未改良区間での事故が多発している。豊田市街地への主要な通勤・通学路、四季桜まつりでの渋滞対策でもあることから、地区では改良促進会による協力態勢を整えたので、早期の現道拡幅・バイパス整備を要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【足助地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	足助	足助白山町・越田和町地内、埋立地の開発	足助白山町・越田和町地内埋立地(足助バイパス残土捨て場)の活用を含めた、豊田市としての開発計画の早期立案を要望する。
2	継続	足助	旧いこいの村施設の再整備・再利用化	旧いこいの村愛知は足助地区では市有地として有益な場所であり、地域活性化のためにも、早期再整備・再利用化の計画策定を要望する。
3	新規	足助	足助まちづくりプランの市計画としての位置づけ	足助の町並み整備は『まちづくり交付金事業』が完了し、一応の計画は終了した。しかしながら、リーマンショックによる予算の減額などにより、多くの課題が残されたままになっている。市計画としての新たな計画策定を要望する。
4	新規	足助	学校跡地・老人ホーム跡地等の有効活用	旧足助町時代に活用されていた『西部中学校』(国谷町)、『老人ホーム跡地』(近岡町)の活用計画が、様々な要因で進捗していない。地元自治区に有意義な活用方法の早期実現を要望する。
5	継続	足助	足助支所新築の早期実現	足助支所の新築については、経済状況の悪化から延期されている状況にあるが、景気の回復見込みが出来次第、早急に計画の実行に着手していただきたい。
6	新規	足助	小規模特認校制度の拡大	足助地区では小規模特認校制度による『小規模校の有利性』を求めるニーズが年々高くなってきている。現在の2校からさらに拡大した小規模校特認制度の導入と、特認校制度の中学校への波及を要望する。
7	継続	足助	山間地域の定住政策の促進	旧5町村(足助・旭・稲武・小原・下山)地域及び、松平・石野地区の人口は減少を続けており、過疎対策としての定住政策の拡充が急務である。人口増加地区とは異なる、人口減少・限界集落への独自の定住政策立案を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【下山地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	下山	県道作手善夫大沼線の改良整備／大沼町	①県道作手善夫大沼線は、下山地区の中央を東西に結びいわゆる背骨にあたる道路であり、地区として主要路線である。未だ狭あい、カーブが急で危険箇所が多く冬季には事故も多い。安心安全な通行可能となる早期改良整備を要望する。 ②大沼町大畑地内における一部狭あい箇所は、車両のよけ合いが困難であり、危険である。地元住民の通行、又観光等に訪れる車の通行も多い。また冬季の積雪時や凍結時の事故発生も懸念されるだけに、早期の改良整備を要望する。
2	継続	下山	市道下山二本松名牛線(名牛集落側)、市道下山越田和ドドメキ線(越田和集落側)及びこの2路線を連結するバイパスの改良整備／大沼町	市道下山二本松名牛線及び市道下山越田和ドドメキ線は、地域と支所等の下山の中心地区を結ぶ重要な路線である。しかし、急なカーブや狭あい危険箇所が多く住民生活や児童生徒の通学に支障をきたしている。この2路線を結ぶバイパス部分を含めて一体的に整備することにより、飛躍的に利便性が向上し、定住促進にもつながるため、早期の改良整備を要望する。
3	継続	下山	主要地方道足助下山線の改良整備／大沼町	主要地方道足助下山線は、支所間を結ぶ重要路線である。また、健康管理を含めた病院への通院用の道路として重要な路線であるにもかかわらず未だ随所において狭あい危険箇所の多い道路である。 早期の安心で安全に通行できる改良整備が必要である。また、本路線は、合併時に県事業として新市建設計画に策定されている道路であり、下山地区と足助地区の双方からの早急な改良整備を要望する。
4	継続	下山	県道坂上花沢線の改良整備／花沢町	県道坂上花沢線は、児童の通学路になっている。 しかし、一部区間において歩道が設置されていない。 交通量の増加があり、児童の登下校の安全確保のためにも歩道の設置を含む道路の改良を要望する。
5	新規	下山	市道下山ニタ瀬草木線道路舗装/羽布町	市道下山ニタ瀬草木線(延長約8km)は三河湖左岸道路である。年間を通して各種イベント事業に利用するとともに、三河湖を周遊する観光道路である。近年自転車愛好者のツーリング客が増加し、危機感もある。ほとんど未舗装であり、近年特有の豪雨で路盤浸食も激しく、交通事故等の危険性をはらんでいることから計画的な整備を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

【旭地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	旭	旭地区の24時間対応型ヘリポートの早期整備	24時間対応型ヘリポートの未整備地区は、旭地区のみとなった。災害時での救援活動や平時での重症傷病者の緊急搬送など、旭地区のみとなった24時間対応型ヘリポートの確保は、重要な災害・防災対策であり、早期整備を要望する。
2	新規	旭	市道旭八幡牧場線の一部改修	県道366号(小渡明川線)から旭高原に向かう市道旭八幡牧場線に入って約150～200m位の地点で急カーブと幅員が狭くなる部分が2か所ある。冬場の路面凍結時や特に5月から9月にかけては、旭高原への大型バスの運行も多く危険な状況であり事故防止のため早期改修を要望する。
3	継続	旭	主要地方道豊田明智線の整備促進	旭地区内の主要地方道豊田明智線の浅谷町～須渕町間のバイパストンネル事業は、平成20年度から用地買収が始まったが大部分は、未買収であり、事業に協力をいただく家屋移転承諾をいただいた地権者等への早期対応や事業の見える化を含め引き続き迅速な事業促進を要望する。
4	継続	旭	低家賃市営住宅の継続整備	山間地域の定住対策として空き家情報バンク制度・低家賃市営住宅の整備は、かなりの効果が見られている。山間地域の定住対策は、一時的な施策ではなく継続して実施することが重要であり、引き続き低家賃市営住宅の継続整備を要望する。
5	新規	旭	旭地区での県代行林道新規路線の整備	県代行林道として平成8年度から開設事業が実施されてきた浅野線は、平成26年度で事業は完了する。引き続き新規路線の開設について県と連携し旭地区での整備を要望する。

【稲武地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	稲武	「豊田市どんぐりの里いなぶ」の防災拠点化機能を含めた施設整備の推進	道の駅を含めた「豊田市どんぐりの里いなぶ」は、日本風景街道との連携で地域全体の活性化が期待されている。また、道路情報等を発信するほか、雨量規制箇所手前(長野県側)に位置し規制時のドライバーの待避所として利用されている。国道153号伊勢神改良事業とともに、観光交流及び地域振興施設としての集客向上と災害に強いまちづくり機能の付加をした施設整備を要望する。
2	継続	稲武	「自然エネルギーゾーン」の位置付けと整備	稲武地区の大井平公園周辺の水路整備に合わせて小水力発電の計画を検討している。既存の面ノ木風力発電所や中部電力の揚水発電所が加われば、稲武地区は全国に誇る環境学習ゾーンとなる。東日本大震災を契機とした脱原発の流れの中で、自然エネルギーゾーンの位置付けと環境モデル都市にふさわしい一体的整備を要望する。
3	継続	稲武	稲武地区の中心地区活性化	生活の利便性が高い中心地区の空き店舗、空き家等を活用し、交流人口の拡大と定住促進を図ることを要望する。また、活かされていない公有財産等の積極的な有効活用を図り、地区の活性化や後継者が戻ってきやすい環境整備を要望する。



○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成27年当初予算への要望

4	新規	稲武	スポーツ合宿の環境整備	豊田市は2019ラグビーワールドカップ誘致を目指している。稲武地区では、豊田スタジアムの芝生を育成してる。標高300m～1100mの地理条件は、真夏でも快適で、山の傾斜で心肺機能が鍛えられるなど立地条件は、スポーツ合宿を推進する環境としては最適である。ワールドカップ誘致とともにキャンプ地としての整備及び、スポーツ合宿の誘致による地域活性を目指すための環境整備を要望する。
5	継続	稲武	面ノ木風力発電所周辺の一体的整備	面ノ木風力発電所一帯は、天竜奥三河国定公園内にある本市の環境取組のシンボルであるとともに、貴重な環境教育資源でもある。この素材を有効に活用して、地域発展に結び付くような観光誘客や子どもたちの環境教育の場とするため、管理道路や風車及び周辺の学習環境の整備を要望する。